



会報 SHINSHIYOU

神私幼

平成24年6月1日

第180号

(昭和29年7月10日創刊)

発行：(社)神奈川県私立幼稚園連合会
 発行人：会長 渡邊 眞一
 編集人：神私幼総務部(広報室)
 発行：年4回(6月・9月・12月・3月)
 発行部数：1700部

<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
 TEL. 045 (440) 3210 FAX. 045 (440) 3209



社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

平成24年度事業予定表

黒字→県連合会行事 赤字→全日私幼連 緑字→県等行事 (予定表は5月22日現在確定のものを掲載)

4 April

- 3(火) 第1回正副会長会
- 6(金) 第1回協会会長会
第1回常務理事会
第1回理事会
- 11(水) 第1回総務部会
- 18(水) 第1回広報委員会
- 20(金) 第1回公益法人制度改革対策検討委員会
- 24(火) 全日私幼連 常任理事会
- 26(木) 第1回研修事業部・研究部 部会
第1回財務部会

5 May

- 1(火) 監事監査
- 2(水) 関東地区会・神奈川地区会団体長会・監査会・理事会
- 7(月) 第2回総務部会
- 8(火) 全日私幼連 理事会
- 9(水) 全日私幼研究機構評議員会・理事会
- 11(金) 第2回常務理事会
第2回理事会
- 15(火) 第1回関東地区教員研修神奈川大会
要項編集委員会
第1回経営管理部
- 16(水) 新規採用教員研修会(私学単独)
- 17(木) 第1回統合保育基礎講座
- 18(金) 第1回102条園プロジェクト委員会
- 21(月) 第2回研修事業部・研究部 部会
- 22(火) 第1回会報編集委員会
- 23(水) 全日私幼連 総会
- 25(金) 平成24年度第1回通常総会
- 28(月) 第1回関東地区教員研修神奈川大会
実行委員会
- 30(木) オープン講座(鎌倉)

6 June

- 6(水) 新規採用教員研修会(公私合同)
- 7(木) 第3回理事会
- 11(月) 第3回研修事業部・研究部 部会
- 12(火) 父母連委員総会
- 20(水) 新規採用教員研修会(私学単独)
- 27(水) オープン講座(小田原)
幼稚園教育課程等神奈川研究協議会
運営委員会
- 28(木) 第2回統合保育基礎講座

7 July

- 3(火) 第4回理事会
- 4(水) 第4回研修事業部・研究部 部会
- 13(金) 園長等運営管理協議会
- 23・24(月・火) 幼稚園教育課程等神奈川研究協議会

8 August

- 2日(木)・3日(金) 第27回 全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修 神奈川大会
- 7・8(火・水) 免許状更新講習必修領域
- 21(火) 幼稚園教育課程研修講座
- 23・24(木・金) 幼児教育実践学会
- 27・28(月・火) 新規採用教員研修会(私学単独)
三浦半島地区教育研修大会

9 September

- 11(火) 第5回理事会
父母連常任委員会
- 15(土) 第1回園内研修
- 13(木) 第5回研修事業部・研究部 部会
- 20(木) 第3回統合保育基礎講座
- 21(金) 第2回園内研修

10 October

- 16(火) 幼・保合同研修講座
- 17(水) 第3回園内研修
- 22(月) 第6回研修事業部・研究部 部会
- 22・23(月・火) 全国設置者・園長研修会(千葉)
- 31(水) 新規採用教員研修会(公私合同)
未定 父母連常任委員会

11 November

- 7(水) 第1回運営委員会
- 7・8(水・木) 関東地区代表者協議会(茨城)
- 13(火) 父母連研修大会(パシフィコ横浜)
- 14(水) オープン講座(逗葉)
オープン講座(川崎)
- 15(木) 第4回統合保育基礎講座
未定 湘南地区教育研修大会
- 22(木) 第7回研修事業部・研究部 部会
- 22(木) 幼・保・小連携研修講座

12 December

- 4(火) 父母連常任委員会
- 5(水) 第1回理事会
- 10・11(月・火) 教育課程中央協議会
- 12(水) 第8回研修事業部・研究部 部会

1 January

- 16(水) 第9回研修事業部・研究部 部会
- 17(木) 第2回運営委員会
- 23(水) 公・私立幼稚園合同研修講座
- 26(土) 横浜地区教育研修大会
- 30(水) 川崎地区教育研修大会
県央地区教育研修大会

2 February

- 7(木) 第3回運営委員会
第2回理事会
- 19(火) 第10回研修事業部・研究部 部会
父母連常任委員会

3 March

- 7(木) 第11回研修事業部・研究部 部会
- 13(水) 第4回運営委員会
第3回理事会

INDEX

- 2・3 会長挨拶
英知を結集し
課題山積の2年を乗り切ろう
●神奈川県私立幼稚園連合会 会長 渡邊 眞一
就任一年を迎えて
●神奈川県県民局長 武山 哲
- 4・5 神奈川県私立幼稚園連合会
平成24・25年度 役員名簿
平成24年度 各協会長及び協会データ
- 6・7 事業部長・室長のことは
本年度の活動方針
- 8・9 本年度から研究部が変わります
研究部報告／研修事業部報告
- 11 感謝をこめて 退任理事・監事の紹介
Pride of KANAGAWA
教育相談室から
音の世界に生きている
●教育相談員 鈴木 敦子
- 12 研修会報告
新広報室からのご挨拶
新規加盟園情報
事務局からのお知らせ
東日本大震災 義援金について

会長挨拶

英知を結集し
課題山積の
二年を乗り切ろう

渡邊 眞一

平成二十四年度に入りました。今期は役員等の改選により、新しい協会長、理事の先生方とともに各部の活動が動き始めています。ご退任されました協会長、理事の先生方には心よりお礼を申し上げます。

さて、私も四期目の任を担うことになりました。課題山積の折、積み残しがない状況のなか、自身にとってはまことに苦しい選択でしたが……とにかく国の動向や県の状況から逃げるべきでない現実を受け止めなければならないと観念し、難題に立ち向かうとうと心に決めたところです。

日頃から県連合会の運営並びに活動に対して深いご理解とご協力を賜りまして、いることに感謝を申し上げます。おかげさまで、ようちえん会館の利用も多く、会館を取得してよかったと思う今日この頃です。できましたら各協会の園長会、研修会などで活用していただけたらと念じます。

ところで平成二十四年度は、関東地区教員研修神奈川大会の開催と、公益法人申請を県に提出し、承認を得るという大きな事業があります。

第二十七回関東地区教員研修
神奈川大会

三六〇〇人余の参加を得て八年振りの研修大会を十分なる成果がでる大会にしようとする委員会が中心となり、七県の先生方を温かくお迎えしようと縷々準備を進めているところです。全園の参加を求めます。

今大会のテーマは「広く、深く、ていねいに保育の質を考える」とし、サブテーマに「心が響きあう幼稚園教育を」と研究部の研究目標をかぶせる形で実施することとなりました。研究の神奈川にふさ



就任一年を迎えて

神奈川県県民局長 武山 哲

社団法人神奈川県私立幼稚園連合会におかれましては、日頃より本県の幼稚園教育の向上、充実にご尽力いただき、誠にありがとうございます。

昨年六月に県民局長に就任いたしました。昨年一年を迎えることとなりましたが、この間、幼稚園教育の重要性と皆様方のご苦労について改めて思いを深めることができました。

昨年三月に発生した東日本大震災に際しては、被災園児の受入れや義援金の贈呈といった支援活動を展開されるところに、それぞれの園におかれましては、園

わしいテーマと自負しております。また、今大会の特色は

- ①記念講演を改め、記念コンサート「神奈川フィルハーモニー管弦楽団と遊ぶ」音を音楽を保育の場に」としたこと
- ②全園参加型の「ほいくの宝箱」（各県各園出展のポスター展示）を提案したこと
- ③神奈川の特色を活かしたフォーラムを設置したこと

など、神奈川らしい大会が開催できるところです。くわしいことは各園に届いている大会要項をご一読ください。

公益社団法人をめざします

平成二十年に新制度（公益法人制度）が施行され平成二十五年十一月末が移行期間とされたことを受け、連合会では平成十九年に常務理事を中心とした「公益法人制度改革対策検討委員会」を立ち上げ、制度の見直し、関係法令の内容、対応の是非について協議検討を行ってきました。検討経過及び課題などについては、その都度、協会長会議、理事会、また会報等にてご報告・ご意見をいただき慎重

に協議をかさねてまいりました結果、十二協会、五地区の意向を踏まえた組織の改革、体制整備がまとまり、平成二十三年七月十四日の理事会の議を経て、現在申請の準備を進めているところです。今年四月、横浜市幼稚園協会、川崎市幼稚園協会は公益社団体化、相模原市幼稚園協会は一般社団体化しました。「公益社団法人を目指す理由」については、会報神私幼第一七八号（平成二十三年十二月一日発行）をご一読ください。

平成二十四年度中には公益社団法人となります。改めて県内唯一の幼稚園教育の責任団体としての役割を担っていく決

意であります。

また、先輩のご苦労と先見性のなかで生まれた社団法人の歴史に幕をとじます。この機会にお礼を申し上げ、次世代に県連の歴史がバトンタッチできる今期でありたいと念じます。

今期から新組織になりました

公益法人制度の改革に伴い連合会の組織の見直しも同時に行ないました。見直しの基本は各協会をベースとして成り立つ今までの組織を引き継ぎ、主な役員の選出方法も大きく変えることなく、円滑な会務の運営が掌どれる体制を求めている新組織の実現であります。

- ①会議構成
- ②理事、監事の選考
- ③会長、副会長の選考
- ④運営委員の選出
- ⑤部の設置

などを見直したところです。このなかで部の構成を総務部（含む広報室、財務室）、振興部、研修事業部、研究部（含む研究室）、経営管理部の五部に再編しました。公益社団の運営と時の流れに対応するための方策です。

国の動向が気になります

政府は三月に全閣僚による少子化社会対策会議で、「子ども子育て新システムの基本制度について」と「子ども・子育て新システム法案骨子」を決定しました。そして今、開催中の国会では社会保障改

革の具体的な柱の一つに、幼保一体化などの子育て支援策を論議の俎上にのせました。仮に新たな子育て関連法案が成立し、二〇一五年度から段階的に総合こども園がスタートするにしても、制度改革にまつわる論議はまだまだ紆余曲折が予想されます。連合会では引き続き幼保一体化プロジェクト委員会を継続し、国の動きを注視しながら、県当局と連携しながら検討を進めていきたいと考えます。

更に厳しくなる県財政に
どう立ち向かうか！

二十四年度は一段と厳しくなるなか、

格形成の基礎を培う重要なものであり、幼稚園は幼児の健やかな成長や生き生きと子育てのできる社会づくりに大きな役割を担っているものと考えております。

神奈川県では、新たに「かながわブランドデザイン」を策定し、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けて、〈次世代を担う心豊かな人づくり〉を六本の柱の一つとして位置付け、重点的に取り組むことといたしました。そして、「かながわブランドデザイン」の着実な推進を目指して、平成二十四年度には教育費として総額約五九九二億七千万円、県民一人当たり六万六千円となる予算を編成いたしました。県民局に関わる部分では、私学振興費全体で前年度比約八億一千万円増の約六一四億三千万円を計上いたしました。ちなみに私学振興費の一般会計予算に占める割合は、本県が全国一となっております。

幼稚園関係の予算配分では前年度比二・六％増と、他校種も厳しいなかでのご配慮をいただきましたが、元々経営基盤の弱い私立幼稚園です。二十五年度に向かつて引き続きの助成充実を県当局に求めつつ、関係団体と連携しながら、精力的な運動を推し進めていかねばなりません。十二協会の応援も必要です。一園一園の強い気持ちも必要です。そしてそれぞれの地区活動を通して私立幼稚園の存在感を今まで以上に示してほしいと思い、それなりの運動展開をお願いします。

その他

一、今期は「研究室」の体制づくりに本格的に着手します。当面は十二協会の研究、研究活動の過去十年の実績を研究室に集積します。連合会研究部の活動実績も同様です。また一時的に預けてあります研究室の財産も今回、研究室に戻します。ようちえん会館に研究室を……これは先輩からの引き継ぎ事項でありますので、一つひとつ時間をかけながら研究室の体制づくりに努めてまいりたいと思います。

二、研究室前の「キッズコーナー」の活用も課題です。じつはようちえん会館を含む建物と町全体の建設コンセプトの一つにキッズコーナーがありました。この考え方に賛同し、会館を取得したと言っても過言ではありません。会館を含む一帯には若年層のご家庭が多く、乳幼児期の子どもたちが大勢います。県連が公益性を発揮し地域とのつなが

りを深めていくうえでも、今期はキッズコーナーの開設と実践の機会をぜひとも設けてほしいと強く求めます。

三、加盟園の危機管理の応援ができるしくみとして顧問弁護士制度を創設したいと考えます。また求人対策にも力を入れてまいります。

とにかく課題山積ですが、設置者、園長先生方のご理解とご協力をいただきながら二十四年度の事業に立ち向かっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

このうち、私立幼稚園への経常費補助につきましては、預かり保育事業、待機児童対策、地域開放事業等に多くの私立幼稚園が取り組んでくださっている状況を踏まえ、前年度比で約四億二千万円増の一六三億六千万円を計上いたしました。このほか、私立幼稚園特別支援教育費補助の増額や被災幼児児童生徒就学支援補助金の継続等を行っております。

いづれにいたしましても、明日の神奈川を担う子どもたちを安心して生み育てることができるよう、幼児教育の向上、充実に向けて私立幼稚園への支援に努めてまいりたいと存じます。

私立幼稚園連合会の皆様におかれまして、神奈川の子どもたちの健やかな成長のために一層のお力添えを賜りますよう改めてお願いいたします。ごあいさつとさせていただきます。

小田原私立幼稚園協会

協会長 平松 章子

①〒250-0011
小田原市栄町4-6-5(新玉幼稚園)
(事務局)〒250-0877
小田原市上新田130(鴨宮幼稚園)
②0465-22-4060 (事務局)0465-47-4251
③0465-22-7067 (事務局)0465-47-4252
④http://www.kinder.ne.jp/~odawara/
⑤12園
⑥(学校法人) 9園 (個人)3園
⑦1, 330名

相和私立幼稚園協会

協会長 磯川 浩

①〒253-0101
高座郡寒川町倉見2299(倉見幼稚園)
(事務局)〒243-0424
海老名市社家1133-1(海老名みなみ幼稚園)
②0467-75-6689 (事務局)046-232-8922
③0467-75-6626 (事務局)046-232-8938
④http://www.souwa.gr.jp
⑤28園
⑥(学校法人)25園 (個人)3園
⑦5, 692名

一般社団法人
相模原市幼稚園協会

協会長 金子 英行

①〒252-0236
相模原市中央区富士見6-6-23 けやき会館3F
②042-751-3606
③042-751-3706
④http://www.kidslink.jp/sagamihara/index_0.html
⑤37園
⑥(学校法人)33園 (個人) 3園
(宗教法人) 1園
⑦8, 564名

逗葉私立幼稚園協会

協会長 石井 稔江

①〒249-0004
逗子市沼間4-1-1(かぐのみ幼稚園)
(事務局)〒240-0111
葉山町一色1862-1(どれみ幼稚園)
②046-871-6258 (事務局)046-875-3330
③046-871-6386 (事務局)046-875-3330
④なし
⑤7園
⑥(学校法人) 6園 (個人)1園
⑦931名

厚木地区私立幼稚園協会

協会長 和田 貴樹

①〒243-0032
厚木市恩名3-11-55(光ヶ丘幼稚園)
(事務局)〒243-0003
厚木市寿町2-6-19(ちぐさ幼稚園)
②046-222-2561 (事務局)046-221-0730
③046-224-3001 (事務局)046-205-0031
④http://www.kidslink.jp/atsugi-shiyo/index_0.html
⑤20園
⑥(学校法人)19園 (個人)1園
⑦3, 033名

茅ヶ崎私立幼稚園協会

協会長 大森 美保子

①〒253-0055
茅ヶ崎市海岸3-1-19(恵泉幼稚園)
(事務局)〒253-0022
茅ヶ崎市松浪1-3-32(まつなみ幼稚園)
②0467-82-3023 (事務局)0467-83-3510
③0467-87-5114 (事務局)0467-83-3510
④なし
⑤17園
⑥(学校法人)14園 (宗教法人)1園 (個人)2園
⑦3, 783名

公益社団法人
横浜市幼稚園協会

協会長 木本 茂

①〒221-0055
横浜市神奈川区大野町1-25
横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
②045-534-8708
③045-453-1120
④http://www2.kids-yokohama.or.jp/~kidsyoko/
⑤259園
⑥(学校法人)209園 (宗教法人)29園 (個人)21園
⑦集計中

公益社団法人
川崎市幼稚園協会

協会長 伊藤 夏夫

①〒211-0063
川崎市中原区小杉町3-2-1
ダイアパレス武蔵小杉311号
②044-711-8383
③044-733-5000
④http://youchien.org/
⑤83園
⑥(学校法人)67園 (宗教法人)10園 (個人)6園
⑦集計中

横須賀市私立幼稚園協会

協会長 岩波 啓之

①〒239-0813
横須賀市鴨居2-56-12(岩波幼稚園)
(事務局)〒237-0067
横須賀市鷹取町1-1-2(追浜幼稚園)
②046-841-2188 (事務局)046-865-2008
③046-842-8717 (事務局)046-865-2008
④http://www.kidslink.jp/yokoshiyou/
⑤30園
⑥(学校法人)24園 (宗教法人)6園
⑦5, 221名

特定非営利活動法人
藤沢市私立幼稚園協会

協会長 青木 敏雄

①〒251-0024
藤沢市鵠沼橘1-1-14 第1興産12号館4階
②0466-54-0711
③0466-54-0710
④http://www.fujisawa-syk.com/
⑤33園
⑥(学校法人)23園 (個人) 4園
(宗教法人) 5園 (その他) 1園
⑦6, 635名

鎌倉私立幼稚園協会

協会長 石井 良一

①〒247-0074
鎌倉市城廻479(鎌倉しろやま幼稚園)
②0467-45-2467
③0467-43-5747
④http://www.kidslink.jp/kamakura
⑤22園
⑥(学校法人)18園
(宗教法人) 4園
⑦3, 174名

平成24年度

各協会長及び
協会データ

①所在地(事務局所在地)

②電話番号

③FAX番号

④HPアドレス

⑤加盟園数

⑥設置区分

⑦園児数

○印は協会長

役 職 名		氏 名	園 名
顧 問	問	遠 藤 匡 弘	伸びる会
	問	永 保 固 紀 (園 長)	田名
常 務 理 事	会 長	渡 邊 眞 一 (園 長)	初音丘
	振 興	小 澤 俊 通 (園 長)	厚木田園
	副 総 務	鈴 木 伸 司 (園 長)	みゆき
	会 経 管	○木 元 茂 (園 長)	幸ヶ谷
	長 研 究 事 業	○大 澤 一 之 (園 長)	松風
	研 究	○石 井 稔 江 (園 長)	かぐのみ
	総 務 部 長	安 西 透 (園 長)	平和
	振 興 部 長	武 藤 保 之 (理事長)	友愛
	研 修 事 業 部 長	岩 本 勉 (園 長)	南大野
	研 究 部 長	亀ヶ谷 忠 宏 (園 長)	宮前
理 事	経 営 管 理 部 長	山 本 安 雄 (園 長)	鈴鹿
	総 務 部 財 務 室 長	渡 井 和 佳 (理事長)	マヤ
	総 務 部 広 報 室 長	川 崎 永 (理事長)	つくしの
	総 務 部 次 長	仁 藤 一 成 (理事長)	川崎こまどり
	振 興 部 次 長	石 井 和 則 (理事長)	原
	研 修 事 業 部 次 長	山 田 まり子 (園 長)	若竹
	研 究 部 次 長	高 方 子 (園 長)	鎌倉みどり
	経 営 管 理 部 次 長	池 田 清 (園 長)	ふじがおか第二
	振 興 部	○伊 藤 夏 夫 (園 長)	丸山
	振 興 部	○岩 波 啓 之 (園 長)	岩波
理 事	振 興 部	○青 木 敏 雄 (理事長)	青木
	振 興 部	○石 井 良 一 (園 長)	鎌倉しろやま
	振 興 部	○大 森 美 保 子 (園 長)	恵泉
	研 究 部	○平 松 章 子 (園 長)	新玉
	振 興 部	○磯 川 浩 (理事長)	倉見
	振 興 部	○金 子 英 行 (園 長)	虹ヶ丘
	振 興 部	○和 田 貴 樹 (理事長)	光ヶ丘
	研 修 事 業 部	山 崎 和 子 (園 長)	杉之子
	研 究 部	安 部 富士男 (理事長)	安部
	経 営 管 理 部	清 水 満 正 (副園長)	まきが原
理 事	総 務 部	檮 木 勝 彦 (理事長)	こすもす
	総 務 部	藤 原 伸 介 (園 長)	森村学園
	総 務 部 財 務 室	岩 谷 恭 子 (園 長)	岩谷学園附属エクレス
	経 営 管 理 部	近 藤 康 弘 (理事長)	名瀬
	経 営 管 理 部	鎌 田 豊 也 (園 長)	ゆたか
	振 興 部	田 野 岡 由 紀 子 (園 長)	山王台
	振 興 部	森 田 裕 明 (園 長)	早苗
	総 務 部 財 務 室	和 田 嘉 明 (理事長)	柏
	研 修 事 業 部	敦 岡 幸 夫 (園 長)	横浜さくら
	経 営 管 理 部	平 山 方 夫 (園 長)	菅
事	研 究 部	今 井 恵 子 (理事長)	鴨居
	経 営 管 理 部	興 俊 道 (主 事)	北鎌倉
	経 営 管 理 部	磯 西 真理子 (副園長)	湘南マドカ
	経 営 管 理 部	長 塚 美 次 (理事長)	伊勢原白百合
	研 究 部	青 木 正 子 (園 長)	平塚めぐみ
	経 営 管 理 部	村 上 裕 (園 長)	あけの星
	振 興 部	山 口 繁 美 (園 長)	つるま
	振 興 部	山 田 誠 一 (園 長)	おおぞら
	監 事	豊 田 泰 治 (園 長)	まつなみ
	監 事	押 本 靖 貴	押本経営労務事務所

神奈川県私立幼稚園連合会

平成24・25年度
役員名簿

新年度を迎え、県連合会の
役員が改選されました。



会長

渡 邊 眞 一



副会長

小 澤 俊 通

鈴 木 伸 司



木 元 茂

大 澤 一 之



石 井 稔 江

事業部長・室長のことば

本年度の活動方針

新たな二年間の活動に向けて、各部の部長先生方に今年度の方針・目標を語っていただきました。

加盟園を代表して重責を引き受けてくださった先生方とともに、各園の先生方も幼児教育振興にご協力願いたいと思います。

総務部

会員の皆様とともに
スムーズな
県連運営



総務部長
安西 透

法人に向けての取り組みについては、県下十二協会の調整が重要だと思っています。また、国が進めている子ども子育て新システムについては、特別委員会を中心に、的確な情報収集を行い、加盟園に正確な情報を伝えていきたいと考えています。課題が山積みの中、一つひとつ焦ることなく解決していけますよう皆さまからのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度四月より総務部長に就任いたしました。今年度は公益社団法人申請並びに公益法人としてスタートする年でもありますので身の引き締まる思いです。まだまだ勉強不足ではありますが、今後の経験を生かして精一杯務めていく覚悟でございます。

今年度は関東地区教員研修神奈川大会を八月に行います。盛大に開催できますよう、加盟園の皆さまのご協力を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

総務部の第一の役目は県連運営がスムーズになされることだと思っています。各協会や正副会長、各部のパイプ役になったり、新会館内での横浜市幼稚園協会や退職基金財団との調整役になったりしながら滞ることなく運営が進むよう取り組んでいきたいと思っています。特に公益社団

振興部

今何をすべきか...
考えよう!!



振興部長
武藤 保之

本年度振興部長の重責を担う事になり一抹の不安を感じております。

不安定な政治、社会情勢で我々は今何をすべきか...将来の不安もさることながら私立幼稚園が益々発展する為のアクションプランを作り、毎日の保育に関わ

る教員の質の向上と保護者の皆様方の力強いご協力とご理解を頂きながら、将来の子ども達の成長を担保に振興活動を通じ積極的にアピールしていかなければならないと思います。

OECDは『豊かな国づくりの根幹にあるのは幼児教育である』と言っています。

子ども子育て新システムの基本制度は決まりましたが内容には疑問点が数多く、未完成なうえに手段と目的を履き違えたシステムです。これからは具体的な中身の議論になります。

この仕組みの中で私立幼稚園は地方分権後の補助金等の裁量権が市町村に移る事になる前に、今から地域地方行政とのパイプを作り、神奈川県全体の幼児教育が遂行出来る体制を築く振興策が重要ではないかと考えます。

この機会に県連一致団結し、県下の子どもたちが明るい笑顔で逞しく育っていくことのできる教育環境の整備を進めていきたいと思っています。

研修事業部

日々の保育を豊かにする
研修活動を
めざして



研修事業部長
岩本 勉

今年度から、研究部から別れて研修事業部が誕生しました。以前より研究部が抱える事業が膨らみ、活動を支える部員

の負担が大きくなってきていました。本来、研究と研修は不可分のものですが、これからは研究部と研修事業部が互いに連携して、より質の高い研究・研修活動を追求していかねばなりません。

そもそも、研修活動はそれぞれの園が基本で構築されるべきものです。自園の理念や特色を生かした幼稚園教育の充実を図ることは幼稚園の将来を決定する大切な鍵となります。

ただし、頑迷固陋に自園の保育にこだわっているだけではガラパゴス化していくことは自明のことです。

倉橋惣三が「幼稚園雑草」のなかで、「疑え疑え、考えよ考えよ。そこに明日の幼稚園教育が初めて活きて動き出すであろう」と言っています。

神奈川県連の研修活動が各園の幼稚園教育の充実の一助となることを期待し、多くの先生方が積極的に参加されることを切望いたします。

研究部

各園の
園内研修力
アップの
ために



研究部長
亀ヶ谷 忠 宏

これまで幼稚園で取り組んできた研修・研究というと、協会や県連、行政が行う、いわゆる外部の様々な研修会に多くの貴重な時間と労力を割いて参加するものでした。その割には、研修会で聞いてきた

ためになる良い話と実際の自園の保育は別物という割り切りがされ、せっかくの学びが明日の保育現場に充分に生かされてこなかったのではないのでしょうか。

しかし、今、総合こども園問題から、一園一園の私立幼稚園の教育、保育の質と力量がこれほど問われている時代はありません。

今一番求められている研修・研究は、一園一園が自分達の力で園内研修、特に保育カンファレンスをメーキングする力や体制をつくり、継続、定着させることです。それによって自園の中で個々の保育者の課題を解決し、保育者の資質が高まり、チーム〇〇幼稚園として保育が磨かれ輝いてきます。

研究部としては、今後、各園が自分達の力で保育のレベルアップをはかるための園内研修力を涵養していくために、どのような研修・研究活動が出来るかを考え企画実行していきたいと思っています。

経営管理部

保育者不足



経営管理部長
山本 安雄

なにかの記事で、五年後には保育者が七万人不足するという記載を目にしました。待機児童数が約四万人なので、それよりも多い保育者の不足という、首をかしげたくなる予測ですが、たぶん、待機

総務部
財務室

適正な
財務管理と
資産管理



総務部財務室長
渡井 和佳

児童数も増え続けるという前提なのでしょ。う。ただ、多くの保育者が、保育士資格、幼稚園教諭免許の両方を持っているのですから、幼稚園教諭もさらに不足するのだらうということは間違いないさそうです。

そんな中で、経営管理部の役割は、毎年の予算総会に示されるとおり、人材確保と労働環境の改善です。当然ながらこの二つは切り離せない密接な関係です。

人材確保については、昨年と同様に就職相談会の開催が九月八日と決定されています。昨年に続き第二回目ということですが、さらに内容を充実して参加した学生が満足感を得られるような企画にしたいと思っています。また、労働環境の改善は、端的には給与と労働時間の改善です。昔は、先生達の使命感に頼って、低賃金、長時間労働に目をつぶって来ることができましたが、それもさすがに限界なのかもしれません。使命感をさらに向上させ、高賃金、短時間労働の方向に進みたいのですが、これが一番難しい。

各役員、各協会の英知を集め、充実した経営管理部となるよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

県連合会の公益社団法人化にともない、

総務部
広報室

充実した
広報活動に
なるように



総務部広報室長
川崎 永

今年度がスタートして早くも一カ月がたちます。各園では新入園児を中心にしてそろそろ落ち着き始めるころではないでしょ

うか。

私は今年度より総務部広報室長という大役を仰せつきました。よろしく願います。

さて、この「会報神私幼」はおよそ三カ月に一回発行をし、内容は県連加盟園の情報をはじめ、県連役員挨拶と各地区協会のトピックスや県連主催の研修会・講習会のお知らせと報告等、また神奈川県知事や各行政機関等からの期待や協力といった各方面からの多岐に渡るものです。特に今年度は八月二日、三日に関東地区教員研修神奈川大会がパシフィコ横浜を中心に開催され、広報室としても様々な場面を担当すると同時にその広報にも努めていきます。

いづれにしましても、広報室活動の方針としては、

- ①県連の方針とその活動になるべくダイレクトに加盟園及び協力団体、神奈川県選出の国会・県議会議員の先生方に伝えること
- ②加盟園に役立つ情報や内容をタイムリーに伝えること
- ③多くの人が読みやすくかつ見やすくなるように工夫すること
- ④各地区協会や各園の紹介をしながら県連の活動に対する理解と協力に役立ちこと

等が主なこととして考えられます。

今後とも広報室より原稿依頼があることを思います。前述方針をご理解のうえ、ご協力をよろしくお願いいたします。

監事	理事	理事										常務理事				役職名	氏名	國名
		研究部	振興部	経営管理部	経営管理部	経営管理部	財務部	総務部	総務部	経営管理部	経営管理部	財務部	財務部	研究部	研究部			
布施晴造	長瀬 潔(園長)	田中 伸宜(園長)	栗山 明(園長)	塩崎千鶴子(副園長)	山田 静栄(園長)	薄井 珠預(園長)	山村 庄次郎(理事長)	石井 政明(園長)	吉原 久雄(園長)	森 慎互(園長)	長瀬 正一郎(副理事長)	丸山 征(園長)	関根 由華(園長)	佐藤 元巳(園長)	櫻井 つた江(園長)	羽田 哲(副園長)	柴田 俊(園長)	〇川井 俊幸(副園長)
布施事務所	中野 綾南	東海大付属本田記念	二宮めぐみ	浜前	相武 梅園	和泉学園いづみ	戸塚こぼと	池辺ゆり	すぎの森	ながつた	しんよしだ	かおり	汐見台東	向原 聖母	銀嶺	桜ヶ丘	ニユーライフ	相模ひまわり

○印は協会長



感謝をこめて

退任理事・監事の紹介

平成二十二・二十三年度にわたり理事・監事の先生方には
県連役員として公私供にお忙しい中、ご活躍をいただき誠に
ありがとうございました。

こども園、公益社団への移行等、多くの課題と向き合いながらの昨期ではありましたが、各理事の先生方におかれましては、そのお力を遺憾なく発揮され、県連のさらなる発展ができました。また、各協会長におかれまして、県連の機関組織として地区協会の活動を推進され、地域における私立幼稚園の社会的地位向上に向けてご貢献されましたことは県連会会の誇りと言えます。

今後も先生方の園の発展と貴協会のさらなる隆盛をお祈り申し上げます。

2012 Kanagawa

第27回 全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修 神奈川大会

主催：財団法人 私学研修福祉会

広く、深く、ていねいに保育の質を考える

～心が響きあう幼稚園教育を～

お互いに研鑽するために是非ご参集ください

1学期も後半に差し掛かり、新入園児は園に親しみをもち始めたこと
と思います。

さて、「会報神私幼」をはじめ、先に送りました「案内要項」などでお
伝えしていますように全日本私立幼稚園連合会関東地区教員研修神奈川
大会が平成24年8月2日(木)・3日(金) パシフィコ横浜国立大ホールに
おいて、以下の要領にて開催されます。

Schedule
スケジュール

1日目	2日目
11:30～ 受付	9:00～ 受付
12:45～ 開会式	9:30～ フォーラム
14:15～ 記念コンサート	15:50～ 閉会式

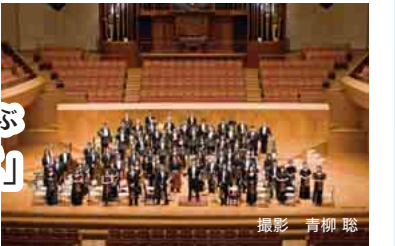
1日目

commemorative
Concert
記念コンサート

神奈川フィルハーモニー管弦楽団と遊ぶ
「音を音楽を保育の場に」



神奈川フィルハーモニー管弦楽団



全体会 「神奈川フィルと遊ぼう」

フィルの演奏も堪能しますが、フィルのメンバーの指導を受けながら
一員となり共に演奏をするというめったにないチャンスです。

2日目

Forum
フォーラム

熱のこもった25におよぶフォーラムが行われ
ます。参加された先生方には、明日の保育の気
づきにつなげて頂ければと願います。また、神
奈川ならではのフォーラムも展開されます。

以上のように研修会が行われます。保育の質を一層高めるために先
生方のご出席を大会スタッフ一同お待ちしております。

新企画

全園参加型

ほいくの宝箱

長い年月をかけ試行錯誤しながら、独自の研究方法で
実践してきた成果をポスター形
式などにまとめた作品の展覧会です。全体会、
フォーラム、休憩の合間、昼食後などにご
覧ください。新たな大発見につながります。

ねらい

参加した先生たちの
参加意識が高まる研修大会にしていく。

私学のそれぞれの良さを共有し、
刺激し合い、相互に高めあう。



祝

Pride of KANAGAWA



今年も私立幼稚園界に
うれしいお知らせが発表されました

瑞宝双光賞 受賞おめでとうございます



学校法人池谷学園
富士見幼稚園
玉川 弘 先生
(理事長・園長)

解説

「瑞宝双光章とは」

国および地方公共団体の公務または公共的な
義務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、
成績を挙げた人

県民功労者表彰 おめでとうございます



学校法人亀ヶ谷学園
亀ヶ谷 忠男 先生
(理事長)



学校法人初音丘学園
初音丘幼稚園
渡邊 眞一 先生
(理事長・園長)

24年度の神奈川県 県民功
労者表彰が発表され、亀ヶ
谷学園の亀ヶ谷忠男先生と
初音丘学園の渡邊眞一先生
が受章されました。おめで
とうございます。

解説

「県民功労者表彰とは」

本表彰は、公共の福祉に貢献し、その業績が特に優れた方々を広く顕彰するこ
とを目的とした県の最高表彰の1つで、今回で64回目となります。
表彰されるのは、団体や地域の活動などを通じて社会福祉、保健衛生、産業・
経済、生活環境、ボランティア活動など各分野で長年にわたり活躍し、特に優
れた業績をあげられた方々です。

音の世界に生きている

教育相談室から



教育相談員
鈴木 敦子 先生
(臨床発達心理士)

「お母さん、もう点が疲れちゃったってなに？」
娘が四歳の頃発した質問です。大好きな何とかレン
ジャーを観ている時です。私にもさっぱり意味がわ
かりません。でも、もしかしてこれは敵に襲われた

〇〇博士がもらした台詞「むむ、盲点を突かれた！」
のことでしょうか(モウ、テンヲツカレタ)。

言葉は音で子どもに入っていきます。大人は子ど
もに向けて正しいことを喋っていると安心してはい
けません。どう解釈しているのやら。お互い誤解の

上に成り立つのがコミュニ
ケーションです。

先日、専門医を紹介してくれる「熊野サービス」
という医療機関を知りました。「熊野先生っておじ
いちゃんなんだけど」と娘に話していると「え
っ、クマノって名前だったの?」、「なんだと思っ
たの?」、「クマさんとか」、「???」。わかりまし
た、「クマのサービス」。娘は今年で二十歳になりま

相談の申し込み

電話にて(社)神奈川県私立
幼稚園連合会事務局へ申し
込みください。

電話番号

045-440-3210

研 修 会 報 告

研究部主催 研修事業部主催

開催日	研 修 名	会 場	講 師	テ ー マ	参加者数
5/16(水)	新規採用教員研修	かながわ ようちえん会館	文京学院大学 教授 塩 美佐枝 先生	保育者の役割 ～新人に求められるもの～	128人
5/17(木)	第1回 統合保育基礎講座	かながわ ようちえん会館	Nippon Data社会福祉研究所副所長・ 教育福祉研究室室長 精神保健福祉士 上原 文 先生	配慮の必要な子どもたちの理解と対応	118人
5/30(水)	オープン講座 (鎌倉協会)	大船カトリック 幼稚園	ぴい*くらっぶす	『モーツァルトで人形劇!』	200人 (予定)

新広報室からのご挨拶



撮影：熊坂 昌志(広報室員)

5月21日は日本中で世紀の天文ショーとも言えるべき、「金環日食」の観察を楽しむことができました。ややうす曇りではありましたが、観測用のメガネを通して、少しずつ太陽が欠けていき、いよいよ太陽のリングが見えた時には全身に鳥肌が立つほどの感動をすることができました。子ども達の心にもこの天体ショーは思い出深く残ることでしょう。

さて、今年度より広報室長として大役を仰せつかった相模原協会の川崎です。今まで県連の仕事は皆無でしたので、戸惑うことが多くあります。また、8月には関東地区教員研修神奈川大会がパシフィコ横浜を中心に開催されます。広報室としても当日に向けての準備や取材等を行う予定です。

今期の広報室員は、前室長の高野先生をはじめ多くの方が留任をしていただいたベテラン勢ばかりでとても心強く感じられます。実際、広報室会議では質問や意見等を熱く語り、作業内容も具体的にスムーズに進めることができ、心から信頼できる先生方に集まっていたことに感謝いたします。

今後とも会報が県連と加盟園をはじめ、各関係団体へのパイプ役になれるような誌面づくりを目指してまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。 広報室長 川崎 永

平成24・25年度 広報室員名簿

役職名	氏 名	園 名
担当副会長	鈴木 伸 司	みゆき幼稚園
総 務 部 長	安 西 透	平和幼稚園
会報担当		
広 報 室 長	川 崎 永	つくしの幼稚園
室 員	藤 原 伸 介	森村学園幼稚園
//	菅 沼 正 平	藤棚幼稚園
//	宮 田 昌 一	新作やはた幼稚園
//	高 野 正 基	湘南台幼稚園
//	熊 坂 昌 志	鈴鹿幼稚園
//	吉 村 文 比 古	誠心第二幼稚園
ホームページ担当		
室 員	藤 田 聡	潮見台みどり幼稚園
//	石 井 秀 卓	ひがし幼稚園
//	大 貫 照 親	中央幼稚園

ようこそ連合会へ 新規加盟園情報

(平成24年4月1日現在)

湘 央 地 区
幼稚園協会

学校法人小磯学園

こいそ幼稚園

〒255-0005
神奈川県中郡大磯町西小磯286-10
TEL 0463-61-4993
FAX 0463-61-4094
(理事長・園長) 小 磯 信 一
平成24年4月1日



事務局からのお知らせ

事務局フレッシュマンを紹介します。

森川 久美(担当：教育相談)

幼児教育界の発展のために、皆様のお力になれるよう頑張っていきたいと思います。

皆さまのご指導、ご助言をお願いいたします。



東日本大震災 義援金について

東日本大震災 義援金にご協力有難うございました。全日本私立幼稚園連合会に全国から5億6千万円を超える義援金が集まりました。神奈川県は兵庫4,582万円、京都4,384万円、大阪4,222万円について4番目の3,977万円を超す義援金を送りました。(皆様の義援金は3,977万3,411円)

【全日本私立幼稚園連合会における義援金 支出内訳 5億6,532万9,340円】

- 亡くなられた私立幼稚園児・教職員の方々への見舞金 及び被災した私立幼稚園の復旧復興支援 3億1,069万円
 - いわて学びの希望基金等行政等への対応 9,996万円
 - 福島第一原発事故の対応 4,791万円
 - 復興対応費 1億259万円
- 他 復旧復興対策に支出しています。

※全日私幼連HPの連絡ボードに報告とお礼状が掲載されています。

編集後記

From the Public Relations Section

4月下旬、野に放たれた朱鷺のヒナがかえりました。朱鷺のヒナは巣立ちまでの間、親鳥の3倍もの餌をついばみ一気に成長していくそうです。他の鳥獣に襲われやすい生態系下位に位置する生き物が生き抜いていくために身につけた本能です。そんな話を耳にしたあと、園庭で屈託のない笑顔で遊ぶ子どもたちの様子を眺めていました。「きみたちは、あわてなくていいんだよ。ゆっくり、少しずつ大きくなっていきなさい」。

とかく先を急ぎたがる現代社会。せめて幼児の間は幼稚園という安全な“巣”の中で、多くの人と触れ合いながら時間をかけてたくましく成長して欲しいと思います。楽しそうに遊ぶこの子たちの巣立ちのときがますます楽しみになってきました。

さて『神私幼180号』のお味はいかがでしょう。新広報室がこの春、巣立ちました。 広報室員 藤原伸介